

農地法第3条の規定による許可申請書(別添)

I 一般申請記載事項

＜農地法第3条第2項第1号関係＞

1－1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

所有地		農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
	自作地					
	貸付地					
		所在・地番	地目		面積(㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
	非耕作地					

所有地以外の土地		農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
	借入地					
	貸付地					
		所在・地番	地目		面積(㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
	非耕作地					

(記載要領)

- 「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。
なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第6号の括弧書きに該当する土地です。
- 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。

1－2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑	樹園地	採草放牧地
作付(予定)作物				
権利取得後の面積 (㎡)				

(2) 大農機具又は家畜

数量	種類	トラクター	田植機	コンバイン	乾燥機				
確保しているもの	所有 リース								
導入予定のもの (資金繰りについて)	所有 リース								

(記載要領)

- 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。
- 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)等資金繰りについても記載してください。

(3) 農作業に従事する者

- ① 権利を取得しようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況
農作業暦 _____ 年、農業技術修学暦 _____ 年、その他(_____)

② 世帯員等その他 常時雇用している 労働力(人)	現在:	(農作業経験の状況: _____)
	増員予定:	(農作業経験の状況: _____)
③ 臨時雇用労働力 (年間延人数)	現在:	(農作業経験の状況: _____)
	増員予定:	(農作業経験の状況: _____)

- ④ ①～③の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離
又は時間 _____

〈農地法第3条第2項第2号関係〉(権利を取得しようとする者が農業生産法人である場合のみ記載してください。)

2 その法人の構成員等の状況 (別紙に記載し、添付してください。)

〈農地法第3条第2項第3号関係〉

3 信託契約の内容 (信託の引受けにより権利が取得される場合のみ記載してください。)

--

〈農地法第3条第2項第4号関係〉(権利を取得しようとする者が個人である場合のみ記載してください。)

4 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況

(「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。)

					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	従事 日数	
その耕作又は養畜の事業に必要な農作業の期間 (該当する期間(実績又は見込み)を「← →」で示してください。)																		
	その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業へ常時従事している者					その者が農作業に常時従事する期間 (該当する期間(実績又は見込み)を「← →」で示してください。)												
	氏名	年齢	性別	権利取得者との関係	主たる職業	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
世帯員等																		

(「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業(耕うん、播種、施肥、刈取り等)にいつでも従事できる状態にあることをいいます。)

5-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積の状況(一般)

$$(\text{権利を有する農地の面積} + \text{権利を取得しようとする農地の面積}) = \quad (\text{m}^2)$$
$$(\text{権利を有する採草放牧地の面積} + \text{権利を取得しようとする採草放牧地の面積}) = \quad (\text{m}^2)$$

以下のいずれかに該当する場合は、5-1を記載することに代えて該当するものに印を付してください。

- (「所要の面積」とは、北海道で2ha、都府県で50aです。ただし、農業委員会が別に定めた面積がある場合は当該面積です。)

6 農地又は採草放牧地につき所有権以外の権原に基づいて耕作又は養畜の事業を行う者（賃借人等）が、その土地を貸し付け、又は質入しようとする場合には、以下のうち該当するものに印を付してください。

- (表作の作付内容＝ 、裏作の作付内容＝)

7 周辺地域との関係

(例えば、集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。)

--